

第8回臨時会

10月20日に開かれた第8回臨時会では、行政報告3件、一般会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

行政報告

北海道教職員組合による 時間外勤務手当等請求事件の終了について

「四六協定」一部破棄の通告撤回を図るため、平成14年に北教組加入の教諭等が、道及び清水町を含む143市町村を被告として超過勤務手当の支払を求めた裁判は、平成16年の札幌地方裁判所、平成19年の札幌高等裁判所で被告側が全面勝訴、平成19年に最高裁判所に上告されたが、平成20年8月27日の最高裁判所で上告の棄却が決定、被告側全面勝訴で終了した。

清水町福祉灯油購入費助成事業について

助成対象世帯は、①65歳以上の独居世帯及び高齢者のみで構成される世帯 ②重度の身体障害者又は重度の知的障害者の世帯 ③18歳未満の児童を扶養しているひとり親世帯 ①②③のいずれかに該当する世帯。

助成額は、一般家庭の1か月分の平均的な灯油使用料200リットルの昨年4月と本年9月の価格差を基に定額1万円とする。

生活保護世帯には、一世帯100リットルと定め、基準を本年4月と9月の価格差を乗じた3,000円を助成する。

原油価格高騰に伴う農業及び商工業の振興対策について

農業関係は、農協等関係機関と協議した結果、土壌分析診断事業を実施し適正な施肥設計を行う。この土壌分析に係わる経費300万円のうち農業者に負担が生じないよう100万円を補助する。

商工業関係については、商工会等と協議し、町内での消費・購買の増大を図るため、うきうき商品券を増額発行し、これに係る経費88万円のうち57万円を追加補助する。

主な補正予算

一般会計

(歳入)	福祉灯油特別対策事業補助金(道)	3,410千円
	特定寄附金	263千円
(歳出)	弁護士委託料	105千円
	福祉灯油助成金	7,342千円
	老人福祉センター自動ドア取替工事	672千円
	施肥適正化推進事業補助金	1,000千円
	清水町商工業振興事業補助金(うきうき商品券)	570千円

財政改革の
行く手に
明るさはあるのか

妻鳥公一議員

清水町は、行財政改革の名のもとに平成14年から、老人福祉、教育費、医療福祉等の切り捨て、上下水道料金、住宅料、保育料等の値上げ、使用料の新設補助金カット等、町民に負担を求めてきた。

民に痛みを求めているがこの改革計画が終了したら町民の暮らしは明るくなるという希望はあるのか。

高薄町長
財政健全化で明るくなるのかということについては、光明は見えてきている。敬老年金の削減、医療の負担増、教育費の義務外負担増、上下水道使用料の改定、保育料の改定などの改革プランを進め、借金も減らすことができ、高い金利のものは借換債で後年度の負担も少なくなっているが、まだ多くの課題があり、町民との協力体制を築いていかなければ成し遂げることができない。4、5年すると、公債費も単年度の支払額が10億円を切り、そのほかに交付税の増額を要望していることにより事業も展開されれば、町民の暮らしも少なからずよくなっていくのではないかと。

その他の質問事項

- 原 紀夫 議員
◇ 町道街路樹の安全管理
- ◇ 全国学力テストの結果
- 荒木篤司 議員
◇ 石油高騰に対する町の対策
- 妻鳥公一 議員
◇ 後期高齢者医療制度

議会トピックス

◆十勝町村議会議員研修会

10月9日、芽室町で「十勝町村議会議員研修会」が開催され、JAめむろ組合長の矢野征男氏(写真右上)が、十勝農業の今後の可能性について講演を行いました。

当町からも多数の議員が参加し、矢野氏の話に熱心に耳を傾けていました。

